

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

# つ の ぶ え

TSUNOBUE

2022年11月1日

第442号



社会福祉法人  
**小羊学園**

住 所 〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町2709-12

電 話 053-584-3337 FAX 053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人 稲松 義人

印刷所 アド・アール株式会社



## 今号のMENU

1 P...

理事長巻頭言

2 P-3 P...

つばさ静岡  
美意識を高める

4 P...

この夏～秋トピックス

5 P...

私たちのこと伝えたい  
～法人本部～  
おすすめスポット  
～お好み焼きこなこな～

6 P...

清水基金助成報告  
リレートーク  
支える会報告 他



大きいしゃぼん玉、大きい笑顔

最近、新型コロナウイルス、気候変動などにより、これまでの経験から予想できない状況に置かれることが増えているような気がする。新しい環境に置かれたとき、命あるものはすべてそれに適応しなければ命をつなぐことができない。しかし、環境の変化が急激であったり、日常とのギャップが甚大であったりすると、私たちはたちまち危機的な状況に置かれる。環境の変化に関する情報を得て、適応するための判断力と体力を持つ人は、何とか適応できるかも知れないが、少なくとも私たちが支援している方は日常生活の小さな変化にすらうまく適応できない方たちが多い。

新型コロナウイルス感染症に対する対応、今回の台風など自然災害時に起こるライフラインの突然の断絶への対応など、身近な経験から、日頃の備えが大切なことを改めて考えさせられた。そしてそれは、具体的な情報伝達のための仕組みや生活を支える物資についてだけでなく、弱さをもつ人たちのことも忘れないということにおいても、日頃からの心構えが大切なことであると思った。弱さをもつ人たちに配慮し合う日常こそが、だれもが求める平和な社会の道標なのだと思う。

稲松義人

# 「昨今、あなたが美しいと感じたものは何ですか？」

つばさ静岡の今年度施設目標は『美意識を高める』です。それに倣い今回のつぶえトピックス・つばさ静岡特集では、先の題目で各々の職員が感じたことをご紹介します。内容は仕事やそれ以外のことについて自由に書いてもらいました。この記事を読んで『昨今、あなたが美しいと感じたものは何ですか？』と自分に問うてみるのも面白いかもしれません。

## 中秋の名月

先日の9月10日、仕事終わりに中秋の名月を見て美しいと感じました。幼い頃はよく空を見上げ飛行機や何かの形に見える雲、大きな星などをを見つけるたびに父や母に報告したものです。大人になるにつれて空を見上げることが少なくなり、中秋の名月を見た際に久々に空を見上げました。広い夜空と美しい月を見上げ、4月に入職させていただき日々懸命に利用者の方と向き合い仕事を覚える中で、必死さがゆえに余裕がなくなり視野が狭くなり考え方に柔軟性が持てていなかった自分自身に気づきました。空を見上げていた幼い頃の美しい純粋な気持ちを忘れず

に、広い視野と柔軟な考えができる生活支援員になりたいです。



生活支援員 天野 滯

## ふと見上げてみると

美しいものを探す為、なんとなく空を見上げてみると「最近そういえば天気のこと以外で空を見ることがなかったなあ」なんてしみじみ思っ

てしまいました。まだまだ夏らしい白く厚い雲が流れていたり、夜の空を見てみれば同じ星空でも、山で見る星空は綺麗だったなと思つてみたり。街灯や建物の明かりがなくても星や月の明りだけで充分明るく感じ、今思い返してみるとそんな綺麗な星空を当たり前のように見ていたけど場所によって違うんだなと感慨にふけてしまいました。そんな中暑いのが苦手な自分は「天高く馬肥ゆる秋」が早く来ないもんかなと考えてしまう今日この頃でした。

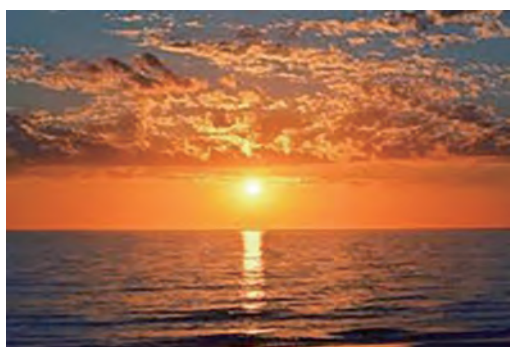


生活支援員 高田 瑠惟

## ある日の出来事

同僚と「美しい」について話をしている時に「ちょっと違うかもしれ

ないけど…」と言いつつ通勤途中に見かけた出来事を教えてくれました。中学生2人が通る車、通る車にお礼を言いながらお辞儀をしていました。何だろうな？と思っていたら、子猫が2匹車にひかれていました。その中学生は再びひかれない様に交通整理をしていたのです。同僚はその光景を見て感動したとのこと。私は中学生の行動だけではなく「美しい」という言葉から、その出来事を思い浮かべた同僚の感性もまた素晴らしいと感じました。『うつくしいものを美しいと思えるあなたのところが美しい』相田みつをさんの詩集を久しぶりに読み返そうかなと思います。



生活支援員 松原 敦子



## 家庭菜園「愛しき夏野菜たち」

我が家では家庭菜園で夏野菜作りをしています。特にきゅうりの収穫量は毎年100本越えです。しかしはじめはうまくいかず土壌改良や品種変更など試行錯誤すること5年、やっと収穫までこぎつけました。今年も猛暑の中、水やりに励み収穫のときには何ともいえない達成感があります。ときにはいびつで不格好でもどれも私にささやかな幸せをくれる愛しき野菜たちです。何かと規制が多いこのご時世だからこそ日常の些細なことに幸福感が芽生えやすいのかもしれない。その些細な幸せを大切に、それをもたらせてくれるすべてに感謝することが私の中の美意識を高めていく第一歩なのかもしれないと切に思う今日この頃です。



看護師 杉山貴子

## 写真には写らない美しさ

施設の目標が決まった春先、正面玄関すぐ横の雑草で荒れ気味であった庭の一角を事務所のみんなと一緒に辺りが薄暗くなるまで緑化しました。予想以上に苦労しましたが達成感と共に心が洗われた気がしました。家ではドラマで「外れガチャ」Ⅱ(出会いを悲観する意)という台詞がある場面を呑気に観ていたところ、息子が「そんな言葉が下らない」と反応し我に返りました。また、荒い運転の対向車を目の当たりにした時も、私が車内で荒い言葉を吐くと窘められる事も。思いやりの心を振り返る事が出来ました。今期の施設目標は職場内で度々話題になり好評中です。今の時代に心地良い「美」を感じ取りたいと思います。



事務 望月克彦

## 今だからこそ感じる日常の美しさ

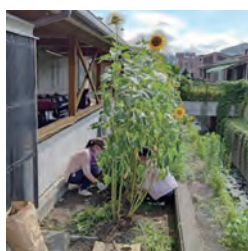
コロナ禍に突入してから利用者の皆様およびスタッフの皆様も窮屈な日々を過ごされているかと思いますが、私もコロナ禍以降、感染対策のため外出を控える事が多くなり様々な事に挑戦する好奇心が薄れつつありました。そこで私は最近、リフレッシュおよび健康のためにジョギングや散歩をするよう心がけています。時間がある時に近くの川原などを目指しますが、そこで川の流れや夕焼け、夜の少し涼しくなった空気の心地よさなど日常の中にある美しさを感じる事ができました。コロナ禍の収束まで、まだ時間がかかりそうですが、感染対策をしつかりした上でこれからも日常の中にある様々な美しいものを発見したいと思っています。



事務 谷口正己

## ありがとう！

令和2年度、令和3年度と新型コロナウイルスの影響で見送っていた「サマーショートボランティア」の活動を今年度は受け入れることになり、感染対策として屋外の草取りをお願いしました。3クールに分かれ、1クール2名ずつ合計6名の高校生ボランティアが活動されました。まずは、利用者さんが利用される前の時間を使い、浴室から見える坪庭の手入れ。雑草が伸び放題の写真を撮り忘れてしまい、ビフォーアフターとしての比較は出来ませんが、とても丁寧に雑草を取り除いてくれました。サマーショートボランティアの皆さん、ありがとう！



生活支援員 穴戸亮仁

# 小羊学園 この夏～秋のトピックス

コロナ禍でも感染対策心がけながら楽しい時間を過ごしました😊

## コロナに負けるな 施設内でお楽しみイベント続々

### オリーブの樹

コロナ禍でも施設内で楽しく過ごせるように様々なイベントを行ってきました！

第1弾ではハワイ気分を満喫☆みんなでおイップクリームたっぷりのパンケーキを食べました！

第2弾では夏祭りで千本引きや輪投げ、カラフルな綿菓子で夏を締めくくりました！



## 夏はやっぱり夏祭り！

### 三方原スクエア成人部

成人部のなごみの家では、少しでも利用者に夏らしい雰囲気を感じてもらいたいと、ユニット内でのプチ夏祭りを企画！まずはみんなでお浴衣を着て盆踊り♪昼食は特別食としてカラフルな紅白のお素麺を味わい、午後はスイカのビーチボールや紙風船で遊び、締めくくりは爽やかなソーダパフェをいただきました。室内での夏祭りでしたが、いつもとは違った雰囲気です。皆さんそれぞれ楽しむことができました♪



## 月ごとに色々なことを 楽しんでいます！

### つばさ静岡



4月 桜を満喫しました🌸

5月 エアートランポリンでゆ～らゆら

6月 白熱！紙相撲大会？



7月 今年の願い事は何かな？

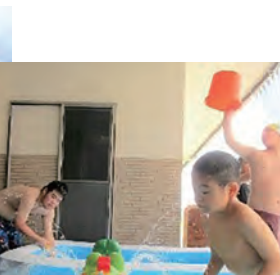
8月 暑い夏はプールが一番ですね♪

## 夏休みや秋の運動会の思い出

### マルカート・ドルチェ

新橋町に移転後、初めてのドルチェの夏休みはプール三昧となり、毎日のように庭のプールや浴槽から大歓声が上がっていました。

マルカートでは10月にミニミニ運動会を開催しました。グループ毎に分かれて、ラジオ体操や玉転がし、クッキー食い競争を行い、みんな楽しい時間を過ごせました。



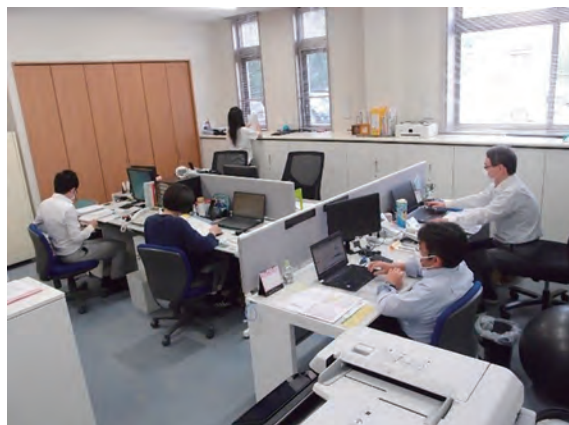


## 私たちのこともっと伝えたい！ 今回は 法人本部 の魅力を伝えます

### 法人本部ってこんなところですよ

法人本部の主な役割は、法人運営にかかわる財務・労務・総務・職員採用・支える会・福利厚生・広報など幅広い事務手続きを行っています。

スタッフは事務局長・次長の他、3名のスタッフが常勤しています。地域の皆さまや現場で働く職員にはあまり馴染みが薄いですが、下支え的な役割を担っています。これからもどうぞよろしくお願いしますね(笑)



業務風景



スタッフ  
集合写真

法人本部事務所は支援センターわかぎ内にあり、わかぎ事務所の奥が本部事務所ブースになります。

スタッフは、池谷事務局長【右前】・福地事務次長【左前】・鈴木さん【左後ろ】、大村さん【中央後ろ】、町田さん【右後ろ】の5名で、本部事務所奥に理事長室があります。

## 小羊学園のお勧め！

### 障がいのある人にやさしい外出スポット

Vol.6

## お好み焼き こなこな (NPO地域生活応援団あくしす)

NPO地域生活応援団あくしすは、「障がいのある人もない人も、住み慣れた地域で生き生きと生活できる環境づくり」をテーマに障がいのある方への支援を行っているNPO法人。

「お好み焼き こなこな」はその理念に基づき、2011年2月にオープンした就労継続支援A型事業所で、現在10名の方がスタッフとして働かれています。店内はアットホームな雰囲気と鉄板から湧きたつソースの香りに満ち溢れ、心地よい空間ですよ！！

お好み焼き、たこ焼き、モダン焼き、焼きそば、鉄板焼き、どれもおいしいので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか！

#### 【店舗情報】

住 所：浜松市中区早出町1025-1

営業時間：11:00～14:00 / 17:00～21:00

休業日：月曜日・火曜日 電話番号：053-545-5701



KOHITSUJI STAFF

## リレートーク

Vol.22

しらお さおり  
白尾 早織 さん

2002 年入職  
三方原スクエア  
事務課長


Q 小羊学園を

志した動機は？

県外の大学卒業後に当時の知的障害者入所更生施設で働いており、帰郷の際も同分野で働きたいと思ったからです。

Q この仕事の嬉しいことは？

日常の中で利用者・職員の皆さんの笑顔に出会えたときは嬉しいです。

Q ちょっとプライベートを教えてください！

2 月に保護猫を迎え入れました。幸運をもたらすと言われている「鍵しっぽ」の持ち主です。家族全員で可愛がっています。

Q 誰にリレーしましょうか？ また一言メッセージを！

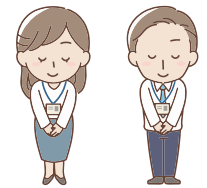
ぱびるすの川合さんにバトンタッチします。電話での問い合わせにいつも明るく対応してくださり、ありがとうございます。ゆっくりお話する機会が無いですが、これからもよろしくお願いします。

老朽化した特殊浴槽3基を  
買い換えました

つばさ静岡

このたび「社会福祉法人 清水基金」様から助成金をいただきました。お礼とご報告を申し上げます。

助成品目 特殊浴槽3基

助成額9,800,000円／総工費14,038,420円  
助成をしてくださった清水基金様の温かいお気持ちを胸に大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。


松川電気様

今年もありがとう

浜松市東区にある松川電気株式会社様がタオル・石鹸・マスクの物品と寄付金を届けてくださいました。なんと今回で16回目になります。

毎年、社員様や関連企業様にお声掛けくださって施設生活に欠かせないタオル等を集めてくださいます。コロナ前は社員様の子どもたちとの交流の機会があっただけに、以前のような交流ができることを願うばかりです。本当にありがとうございます。感謝！感謝！



## 小羊学園を支える会

2022年度 寄付金報告

8月～9月分 207,000円 (22件)  
累 計 2,182,796円 (83件)

多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785  
口座名義 社会福祉法人小羊学園  
ゆうちょ銀行 〇八九店 当座預金0107785  
口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局 (鈴木)

小羊学園法人本部 ☎ 053-584-3337

あ と が き

「何者かになってキラキラしたい！」20代後半を頂として強くそう願っていたあの頃を、昨今よく思い返します。気力も体力も落ちた今だからでしょうか。ただ、そこには不思議と悲壮感というものは無いのです。むしろ、失ったからこそ得られるものがあると安定した気持ちさえ抱いています。「人間が枯れる」という言い回しがありますが、それは「人として気取りや無駄がなくなり、円熟味が増している」という意味のこと。この先、前を見据えてゆつくりと歩んで行きたい、そう願う次第です。(M)